

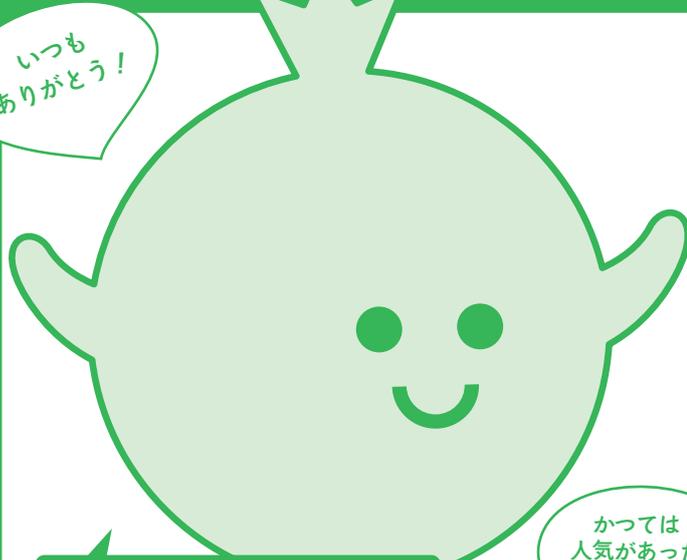
ごみゅにけーしょん

Gommunication みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

事業ごみ減量
ニュースレター創刊

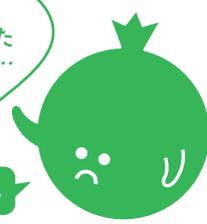
この度、事業ごみの発生抑制や分別排出等をわかりやすく皆さんに知っていただくため、「事業ごみ減量ニュースレター ごみゅにけーしょん」を創刊することになりました。
今号から隔月で5回発行します。お楽しみに！

いつも
ありがとう！



透明袋のご使用
ありがとうございます。
ございます。

かつては
人気があった
のだけれど…



とうめいごみ袋ちゃん

誰にでも隠し事はしないオープンな性格で透き通る肌を持ち、その透明感のある容姿は、みんなに安心感を与えている。

色つきごみ袋くん

≡ 押さえておきたいごみ知識

事業ごみって何？

どんな種類の仕事でも、お仕事をされていて出るごみは「事業ごみ」です。例えば、事務所や食べものやさん、雑貨屋さんなど、大きさには関係なく、お仕事をしている場合に出るごみは「事業ごみ」です。

「事業ごみ」は、「家庭ごみ」とは一緒に出せません！
多くても少なくとも、また「資源ごみ」であっても同じです。
許可業者や資源回収業者と契約してください。



事業ごみ！

- ※ 職場から出る紙ごみ、お茶の葉、タバコの吸殻
- ※ 飲食店、従業員食堂、卸売・小売業から出る残飯、調理くず
- ※ 職場から出る割りばし、木の枝葉、布、使用済紙おむつ等

事業ごみは透明袋で！

事業ごみは、透明（無色又は白色）の袋で出してくださいね。

ごみ削減に役立つ豆知識

ごみゅにけーしょん

Q&A



- Q 事業ごみで一番多いものは何？
1. 紙類
(段ボール、書類など)
 2. プラスチック類
(ペットボトル、ポリ袋など)
 3. 生ごみ
(売れ残り、食べ残しなど)

※答えは裏面の下にあります。





いんたびゅー

京都環境事業協同組合
理事長 インタビュー

京都環境事業協同組合の新川耕市理事長に事業ごみについてお話を伺ってきました。



新川理事長

Q：どのような活動をされている組織ですか？

A：京都市内の事業所から出るごみを収集、運搬、処理する、京都市の許可を得た一般廃棄物収集運搬業者84社が加盟する組合です。組合ではサービスの充実や業界の地位向上を目指し、組合員全員の研修会を定期的に開催しているんですよ。よく『ごみ屋さん』と呼ばれますが、一般廃棄物収集運搬業者を『一廃(いっぱい)業者』と呼ばれるようになりたいと思っています。

Q：美しい京都は、皆さんが支えておられるのですね。昨年、組合創立50周年を迎えられたとお聞きしました。おめでとうございます！

A：ありがとうございます。昨年は組合の50周年記念として、組合の地元である南区役所に電気自動車を寄贈させていただきました。今年からは京都市内の事業者の皆様積極的にご購入いただいた京都市推奨事業系ごみ袋の収益金から100万円を市内の児童養護施設に寄付させていただきました。これからも継続的に社会貢献に取り組んでいきたいと考えているんですよ。

Q：今後も期待しています！話は変わりますが、昨年事業ごみが透明袋に統一されました。このことによる変化はありますか？

A：透明袋になり事業所からのごみが「見える化」されたことは、京都市が進めているごみ減量に具体的に結びついていると実感しています。しかし、分別がまだまだ進んでいないことが課題ですね。こういった課題を解決するためには、組合・排出事業所・行政がひとつにならなければなりません。市と組合は、会議を毎月開いて活発な意見交換を行うなど、これまで以上に連携した取組を進めています。

Q：なるほど！強固な連携で、循環のまち・京都を目指しているのですね。最後に、このニュースレターを読んでいただいている事業者の皆様へメッセージをお願いします。

A：店舗・事務所・工場・会社などから出る『事業ごみ』から、家庭で廃棄される『大型ごみ』まで、『ごみ』処理のことなら当組合か一般廃棄物の許可業者にいつでもご相談ください。

また、京都市の処分手数料の改定が段階的に行われています。排出事業者の皆様情報に浸透していないこともあり、組合員が負担している場合も少なくありません。どうぞ適正な料金負担にご理解ご協力をよろしくお願いします。

京都環境事業協同組合から

事業ごみ収集のご相談は、当組合まで。
「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています！
京都環境事業協同組合 Tel. 075-691-5516



とびくす

透明袋義務化スタートから1年！

「事業ごみ」の透明袋義務化から1年。おかげさまで皆さまのご協力により、黒袋や青袋は見かけなくなりました。ごみの量も、1年前と比べて減ってきています。これからも透明袋のご使用と“へらす”“わかる”の取組をよろしくお願いします。



義務化前

義務化後

コラム

京の知恵

京都の伝統文化に育まれた知恵を、次代を担う若手がコラムにてご紹介！

茂山逸平(狂言師・俳優)

狂言とごみ減量でのコラム依頼がきたときは正直「あまり関係ないなあ、お笑いの芝居でごみ減量はなあ。」と思っていたのですが、いざ改めて考えると結構関係があるのかもしれない。「先祖伝来の〇〇」という言葉をお聞きになったことはありませんか？これが今回のテーマ「ごみ減量」にも通じるのでは？ということなのです。



古くさいもの、または汚くなったもの捨てようと思っていたものが「先祖伝来の」という言葉が付くことによって捨てることができないう大事なものになったりするような気がしませんか？「先祖伝来」でなくても「お父さんから貰った」とかでもいいのかもしれませんが。長年使ったり何代にも渡って使われてきたものには付加価値のようなものが生まれたり、愛着を抱き大切に直したり綺麗にしたりして簡単に捨てたりしなくなりますよね。もしかしたら私たちの周りには発想次第ではまだまだ捨てられない大切なものばかりなのかもしれませんね。

茂山逸平(しげやまいっぺい)プロフィール：1979年生まれ、京都市出身。父・二世茂山七五三、祖父・四世茂山千作及び曾祖父・三世茂山千作に師事。4歳で初舞台を踏む。若手狂言師として人気を博すかたわら俳優としても活躍する。著書に『茂山宗彦茂山逸平と狂言へ行こう』(旬報社)がある。

ごみゅにけーしょんQ&Aの答え：3. 生ごみ

事業ごみの内訳は、生ごみが41.1%と最も多く、これに紙類が33.1%、プラスチック類が12.6%と続いています。生ごみが出ない業種では、紙ごみが一番多くなりますね。生ごみ、紙類のごみを減らすことが、ごみ削減のポイントになります。



次号は紙ごみを減らすポイントを紹介しますよ！

※データはH20.3京都市環境局調査から

